

## 問 公共交通バス運行について

**Q1** 公共交通の現在の進捗状況について伺う。また、西部地区の説明会についてはどう考えているのか。

**答** (永田地域振興課長)

現在、将来にわたって維持でき、誰もが利用しやすい地域公共交通網とするために、東部地区におきまして、久田見と潮南2つのエリアに協議会を設置し、令和2年10月の試行運行実施に向けて検討しております。

先進地である白川町の公共交通については、平成28年1月から公共交通会議が開催され、様々な調査や懇談会を実施し、平成29年7月から試行運行を重ねて、平成30年10月から本格運行しており、2年9か月を要しております。

本格運行からほぼ1年経過した現状では、高校生の送迎に関しては、既存のスクールバスを利用することで、効率的に運行出来ておりますが、高齢者等一般住民は、利用の仕方、仕組みがわからなかったり、運行体制が整っておらず、安全管理上十分などところがある等の課題があります。運行管理及び運行業務は交通事業者に委託して実施されております。

東部地区の運行体制は、町が運営主体となり、社会福祉協

会が運行主体となります。

西部地区の公共交通を進めるにあたっては、東部地区での運行形態が大きく影響するため、協議結果を見据えながら慎重に、地域・交通事業者・関係機関等と協議を進めていきます。



## 問 観光土産について

**Q1** 外国人客に喜ばれる日本特有の土産物を、売店に展示したらどうかと考えるが、今後の対応について伺う。

**答** (古田タウンプロモーション室長)

外国人観光客は毎年2000人が八百津町を訪れ、年々増えつつあり、その大部分がイスラエルからの団体客です。

杉原千畝記念館のカウンターには、お土産品が、ところ狭しと置いてあり、これ以上のお土産品を置くスペースはありませんし、記念館内のカウンター以外のどこかに置くということも、杉原千畝記念館の展示コンセプトにも合いませんので現段階では困難であると考えます。

ご提案の日本人形につきま

でも、町内で製造されている日本のものとしては代表的なものであるとのところ、製造する人形は受注生産が中心であるため、お土産用にある程度の数量を作ることは考えていないということ、仮にお土産品として作ったとしても金額も高価になってしまふということでした。さらに、日本人形についても杉原千畝氏の功績と関連性がなく、杉原千畝記念館のコンセプトとしても合致しないと考えます。

しかし、お土産品を現状のままでも販売を続けていくことも考えておりませんので、来館するお客様のニーズと杉原千畝記念館のコンセプトに合致したお土産品があれば、検討していきたいと考えております。



杉原千畝記念館

## 館林久宜議員

### 問 自動車の安全装置等に対する補助金創設について

**Q1** 踏み間違い防止装置について、ここ数年、全国で高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いが原因と思われる交通事故が多発している。この踏み間違いによる事故を防ぐために、全国で多くの自治体が行っている補助制度を創設し、後付けの安全装置の普及を進めていく。高齢者の事故防止と安全な交通環境を守るため、当町においても踏み間違い防止装置に対する補助制度を創設してはどうか。

また、あおり運転を抑制するためや、その証拠とするために有効なのが、ドライブレコーダーである。防犯カメラと同様の機能も持ち合わせたドライブレコーダーは、安全安心な町づくりに寄与するものと期待できる。町民の暮らしを守るために、ドライブレコーダー購入に対する補助を検討してみてはどうか、執行部の考えを伺う。

**答** (山田防災安全室長)

ペダルを踏み間違えた際の急発進防止装置は、事故防止に効果的であるとされており、近隣では、美濃加茂市、川辺町、富加町、東白川村が65歳以

上の方を対象に、先進安全自動車の購入補助を行っておりますが、新車購入に対する補助となっております。

国内での後付けの急発進防止装置への補助の導入状況は、全国的にはまだまだ少ない状況です。最近、後付けの装置が、自動車メーカーを始め、自動車用品店等で発売されておりますが、メーカーによって価格や性能に差がある一方、公的機関などによる性能認定制度がないため、国では急発進防止装置の認定制度を設ける方針です。

今後、国や県の動向、既に補助を行っている他の自治体の事業効果を研究した上で、後付けの急発進防止装置の普及に向けて、効果的な施策を検討してまいります。

また、あおり運転の事件を踏まえ、車に設置されているドライブレコーダーがクローズアップされております。警察では、防犯カメラの画像データに加え、ドライブレコーダーで撮影された画像データについても事件解決の重要な手掛かりとして注目しております。

ドライブレコーダーに防犯カメラ機能を持たせて活用することは、動き回る自動車に設置することで、情報量も豊富であると言えますが、本来ドライブレコーダーに期待される役割は、設置している車の運転者に交通